

## 第1回産業分類検討チーム 議事概要

1 日 時：令和3年6月28日（月）16:20～17:15

2 場 所：Web会議

3 出席者：

【学識経験者】河井構成員（座長）、居城構成員、伊藤構成員、管構成員、中村構成員、宮川構成員

【各府省庁等】内閣府、金融庁、総務省、法務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

【オブザーバー】日本銀行

【事務局】総務省政策統括官付統計審査官室：植松統計審査官、二橋参事官、小高専門官、上田専門官ほか

4 議 題

- (1) 産業分類検討チームの開催について
- (2) 国・地方公共団体等への改定に関する意見等照会について
- (3) 今後の審議日程等について
- (4) 主な検討課題等について
- (5) その他

5 議事概要

(1) 議題1 日本標準産業分類に係る「産業分類検討チーム」の開催について

事務局から、資料1及び資料2について説明が行われた後、第14回産業分類改定については、産業分類改定研究会の下に研究会の学識経験者構成員と各府省の実務担当者の構成員により構成される「産業分類検討チーム」を設置すること、及び具体的な改定案の検討・作成は「産業分類検討チーム」において行うことが、特段の異議なく全構成員からの了承が得られた。

(2) 議題2 国・地方公共団体等への改定に関する意見等照会について

事務局から、資料に基づき、事前に各府省、都道府県及び政令指定都市から徴した日本標準産業分類の改定についての意見、日本標準産業分類の使用状況について説明が行われた。

なお、事務局から、本日の報告は社会経済情勢の変化を踏まえ、また関係機関、団体からの意見を徴して行うものであるが、所管する対象分野が広範・多岐にわたる省などまだとりまとめ中の機関もあるため、現段階における問題意識を示したものであり、次回検討チームには、最終的なとりまとめ結果を提出する予定であることが報告された。

(3) 議題3 今後の審議日程等について

事務局から、資料3-1及び3-2に基づく日程についての説明が行われた後、質疑応答が行われ、第2回目を8月の第1週（8月3日）に開催し、第3回目を9月第4週に開催すること、来年8月までに一通りの分類についての審議を終え、来年9月から残った課題についての審議する方向である旨の説明等が行われた。

資料3-1に記載された審議の議題についての質疑が行われた。

主な質疑応答は、以下のとおり。

- 今回の改定案の検討においては、一般原則についても検討が行われることとなっているが、予め全体のコンセプトを固めた上で細かいテーマの是非を検討するのだと思う。一貫したコンセプトを決めておかないとこれらの善し悪しの議論ができないのではないか。そういう意味で、本日の資料には、全体像としての方針、概念、一般原則などの全体像についての検討をいつ、どのように議論するのが明確になっていないのではないか。
  - ← 総論的な事項については、8月に開催予定の検討チームにおいて行うことを予定していたが、本日の意見を踏まえて座長と相談して日程等を検討したい。
  - ← 総論的な議論をして、各論を議論するという方法もあるが、各論の議論を行いながら総論にフィードバックする方法もある。今回の改定案の検討については、審議期間の制約もあるので、総論、各論の両にらみで進めていくことを考えている。
- これだけの細かなことを検討するのに基本的なコンセプトが決まっていなくて正解を出すのにすごく時間がかかるのではないかと思う。NAICSにおいては、予め基本的なコンセプトを作成しているので、出された多種多様な意見の取舍選択を、「これはコンセプトに合わない」ということで是非の判断が明確に出てくるので効率的に行うことができていると聞いている。そういう意味で、多くの検討事項を効率的に検討するには予めコンセプトを決めておくことが重要であると考え。コンセプトを変えることがこの検討会チームの課題であると考えるので、厳密性はともかく全体的なコンセプトを作成することが大事なのではないか。
  - ← 分類基準についての基本的な考え方については早い段階で固めておくことが必要と考えているので、ご指摘の意見を踏まえて考え方の整理等を行いたい。
- 国際標準産業分類の改定の動きはどのようになっているのか。日本標準産業分類改定の議論は、その国際標準産業分類がどのような方向性で改定の議論が行われているのかを踏まえて行うことが必要と考えるので、どういうコンセプトで検討すべきなのかを考える上で重要な情報であると考え。国際標準産業分類改定の動きを無視して日本だけで動くのもいかがかと思うので、情報の共有をお願いしたい。
  - ← 国連は、令和4年末までに改定案を作成し、令和5年3月の国連統計委員会で採択するというスケジュール感で検討が行われると聞いている。日本より少し進んでいる状況。現在、国連ではタスクチームを作って、ポイントポイントごとに検討を行うということなので、その情報を日本標準産業分類改定の議論に反映させるという意味からも、国際標準産業分類改定の議論に係る情報については、適宜共有を図っていきたい。
- ある程度、国際標準産業分類改定の情報を共有しながら議論しないと、せっかく改定したばかりのものが国際標準産業分類と合わせづらくなったり、使い勝手が悪くなったりするのではないかと思うので、適宜の情報共有をお願いしたい。
- 製造業のファブレス化、アウトソーシング化について、生産物分類においては、製造サービスの一部をアウトソースする場合は新しい「製造サービス」という項目が立てられているが、全部アウトソースされたサービスは新しい項目として立てられていないと思う。今回の産業分類改定の議論においては、ファブレスの事業所と製造受託を専業とする事業所等を区別する必

要があるのかないのかをどこかで議論する必要はないか。

- 資料のスケジュールの立て方は、府省ごと製造者ごとの分類で整理がされているが、最初に原理原則を明確にして議論するというやり方、国際標準、国際的連携を含めて議論を行う方法、さらに、新しく起こっているアウトソーシングの議論などをどうやって取り込むかという議論はある。それらをどのように取り込んでいくのがきれいに整理できるのかをもう少し検討する必要がある。
  - ← ファブレス化など製造現場における変化についての議論は、今後、何らかの形で、情報収集を行った上で、改めて議論の材料を提供したい。
  - ← 国際標準産業分類の改定に係る情報については、興味深い検討事項もあると聞いているが、メンバー国だけをみてもそれぞれの国の事情により現段階では合意が得られるかどうか方向性が不透明な状況ではないかと考えており、国連における検討の状況に係る情報を入手して、配布される資料の熟度に応じて座長などと相談しながら議論していただきたいと考えている。
- 日本標準産業分類は、主に産業統計のための分類ではあるが、国勢調査でも「管理、補助的経済活動を行う事業所」の分類項目は使われているのか。産業分類の改定の議論においては、世帯統計における産業分類の利活用の状況を聞いてみることも大事と考える。

#### (4) 議題 4 主な検討課題等について

事務局から資料5及び参考資料に基づく、前回（第13回）改定において今後の検討課題とされた事項等現段階で想定される検討課題についての説明が行われたのち、質疑応答が行われた。主な質疑応答は、以下のとおり。

- 資料に示された検討課題には、生産物分類の視点が抜けているのではないかと。生産物分類と産業分類との関係性をどのように考えるか、という視点が抜けていると思われる。全体像として生産物分類との関係をどのように考えるか、ということだけではなく、細かな部門においてもそれぞれ生産物分類との関係性を考えながら議論するということが大事ではないか。

生産物分類ができるまでは、産業分類ですべてを把握するという考えであったと思うが、生産物分類が作成されたのだから、生産物分類と産業分類とを補完的に使えば生産構造や産業構造の実態が解明できるということを目指して議論すべきではないか。
- 今、指摘のあった生産物分類と産業分類との関係性の議論は、早い段階で行うことが必要と考える。8月の会合で今の意見を踏まえた議論をするのは難しいと思われるが、早めにそれらを各論の議論に反映させるということはよいこと。また、資料5を作成する段階で入っていない視点があれば、検討チームでの検討にはこういう視点も加えたらよいのではないかと、ということを送ってもらい、それを整理して次回の検討チームに提示したい。
- 生産物分類の議論では、旅行業のような「パッケージ型」で提供されているサービスの議論が難しかった。産業分類の検討において、製造業からサービス業まですべてのサービスをパッケージで提供するような産業があった場合どうするかなども考えておく必要があるのではないかと。
  - ← 生産物分類策定においてなされた議論において、産業分類改定の議論を行う場で議論してはどうかとされた事項については精査の上、できるだけ議論を行っていただきたい。各府省

庁においても、気づかれた点等があれば、意見を出してほしい。

(4) 議題5 その他

事務局から、本日の検討チームの審議において宿題となった事項については、事務局において座長及び学識経験者構成員に相談しながら、また関係府省庁とも調整の上、次回の検討チームにおいて報告することとされた。

本日の議事概要については、内容を確定した上で、本日の会議資料とともに総務省のHPに掲載する。

(以上)